

個人と社会の  
ウェルビーイングの  
実現

# 県教育委員会の 主な取組状況について

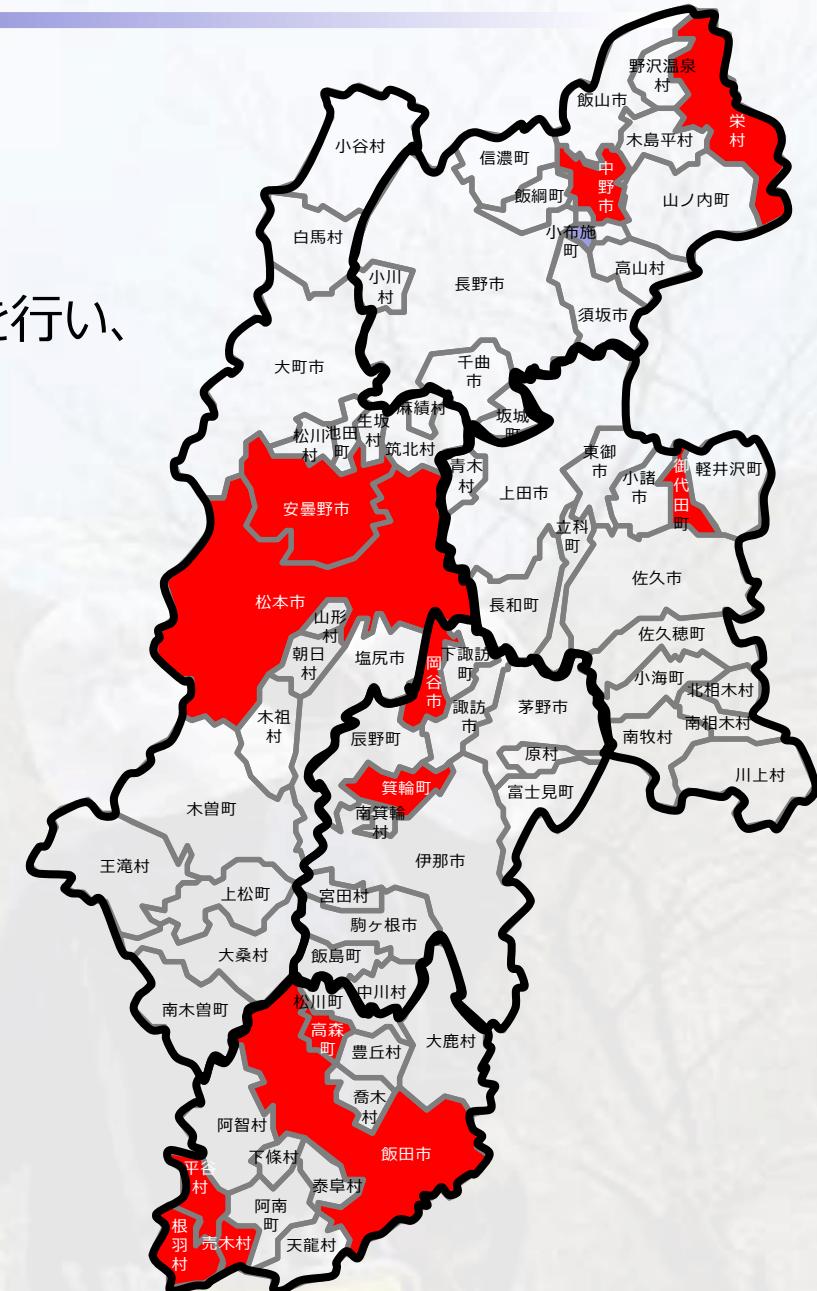
長野県教育委員会事務局  
学校改革支援センター

# ウェルビーイング実践校TOCO-TONの状況

ウェルビーイング実践校TOCO-TONは  
すべての子どもが、好きや楽しい、なぜをとことん追求するために、  
自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校を目指し、  
「学校の仕組み変革」に挑戦し、子ども、保護者、地域と一緒に学校づくりを行い、  
学校の新しい当たり前を創っていく取組。

令和7年度、  
12市町村（5市3町4村）  
70校（小学校46校、中学校23、校義務教育学校1校）  
で取組がスタート。

市町村	5市/19市	3町/23町	4村/35村	12/77
学校種	46小/343小	23中/179中	1義務/5義務	70/527
規模	小学校 10,593名 /92,102名 545学級 /4,666学級	中学校 5,762名 /48,569名 262学級 /2,191学級	義務教育学校 45名 /667名 9学級 /68学級	16,400名 /141,338名 816学級 /6,925学級



# 学校改革支援センターによる伴走支援

ウェルビーイング実践校TOCO-TONを含む改革を目指すすべての学校を  
伴走支援する組織として、**学校改革支援センター**を設置



4月11日 学校改革支援センター発足式

## 学校改革支援センターのミッション

- ◆ これまでの常識にとらわれず、学校づくりを突き詰めていくことを支援
- ◆ 学校改革を進めるすべての学校を伴走支援し、県全体の改革の機運を高める
- ◆ 挑戦しようとする長野県教育のシンボル



市町村教委・学校を伴走支援する指導主事

# 「学校の仕組み改革」の具体取組事例

01

## 子どもたち自身が学校のルールを作る・決める

学校の日課、校章や制服のデザイン、校歌、教室配置をアンケートや話し合いで  
子どもたちが主体となって決める（栄小中、平谷小）  
運動会の種目や進め方を子どもたちが話し合って決める（中野市日野小、栄小中）

02

## 幼保（やまほいく等）と小学校の接続

学習指導要領の範囲の中で、小学校1年生が遊びの中で学ぶ機会を創出  
(箕輪西小)  
地域の小学校と幼保が互いの実態を学ぶ研修会を実施（安曇野市、高森町）

03

## 自然と一体となった教育を行う

子どもが日常的に学校の外で学ぶ機会を創出  
(松本市大野川小、安曇野市明北小)

04

## 異年齢等、多様な集団による学びを実践する

小3生が保育園児を学校に招待し定期的に交流（御代田北小）  
学年や学校の枠を超えて音楽の授業やスポーツ、遠足・登山などの学校行事に取り組む学校（栄小中、安曇小中、奈川小中、大野川小中）

05

## 地域とともに学校づくりを進める

災害時に避難所となる学校と地域が合同で防災学習を実施（岡谷北部中）  
地域の方を講師に迎えて地元産業や農業などを通した授業を行う  
(飯田市高陵中、中野市延徳小、根羽学園)

06

## 教員の働き方改革の推進

40分授業 5時間制を導入し児童下校後の時間を有効活用（御代田北小）  
学校の枠を超えた同学年会を実施して情報共有を図る  
(安曇小中・奈川小中・大野川小中)

07

## 同一中学区における小中の一体的な学び

中学校区単位で、小中(9年)や、幼保小中（12年）の繋がりのある学びをデザイン  
(岡谷市、飯田市、安曇野市)

これらのアプローチで学校改革が  
徐々に進み始めている。

子どもたち自身が学校のルールを作る・決める



「こんな音楽会にしたい！」を異年齢グループで話し合う活動（中野市立日野小学校）

## 幼保（やまほいく等）と小学校の接続



やまほいくで育った小学1年生が教室から出て自然の中で学ぶ活動（栄小学校）

自然と一体となった教育を行う



生徒自らテーマを決めて探究的に学ぶ「全校総合」（飯田市立高陵中学校）

飯田市では令和8年度より新教科「みらい創造科」を新設予定

異年齢等、多様な集団による学びを実践する



3小学校の1・2年生が合同で行う体育の授業（松本市立安曇小・奈川小・大野川小）

## 地域とともに学校づくりを進める



学校や地域のあり方を子ども・大人が一緒に考える活動（平谷小学校）

# 個人と社会の ウェルビーイングの 実現

随時更新！

長野県教育委員会公式SNS



Instagram



Facebook

各校・地域の取組の最新情報はこちらから

お問合せ：

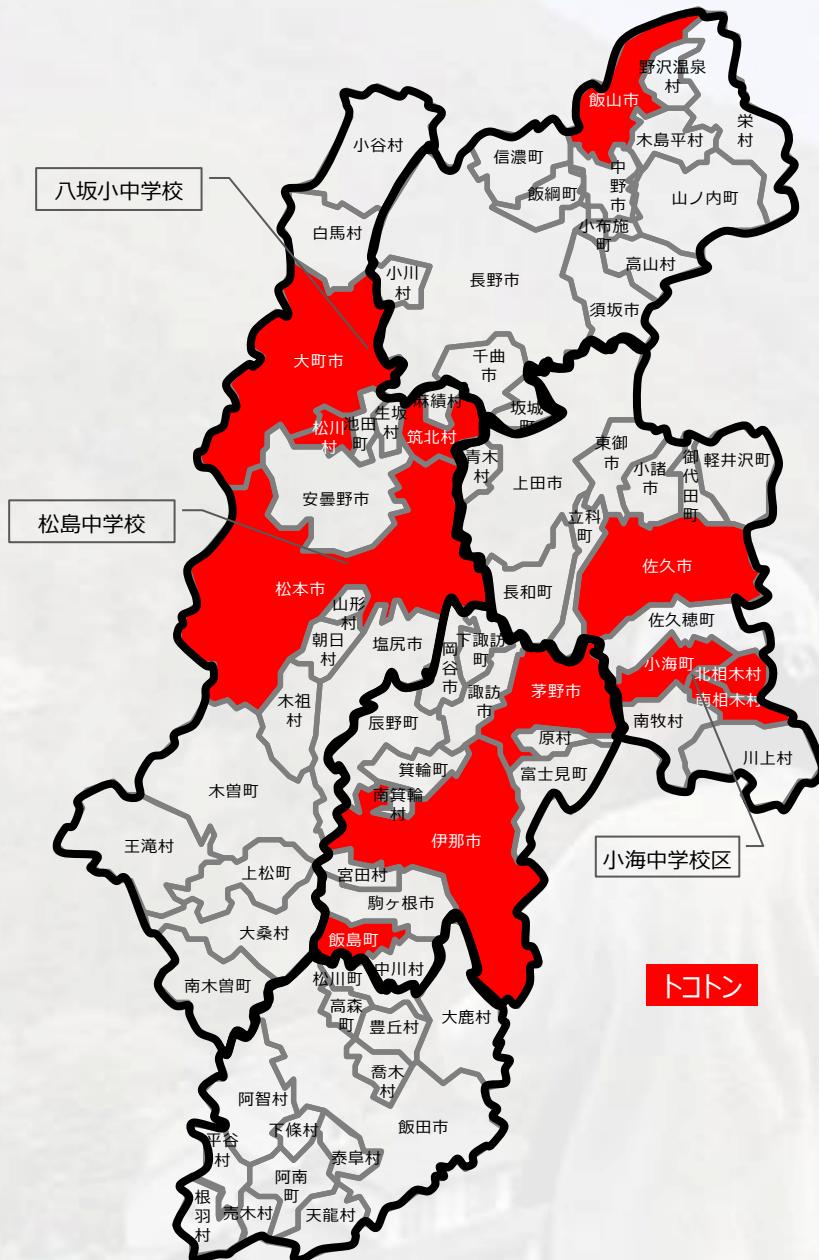
長野県教育委員会事務局

学校改革支援センター（担当：藤井、掛川）

電話 026-235-7383（直通）メール toco-ton-support@pref.nagano.lg.jp



## 新たにTOCO-TONとして指定した市町村



地域	市町村	小学校	人数	学級	中学校	人数	学級	義務	人数	学級
東信	佐久市	岩村田、平根、中佐都、高瀬、野沢、岸野、中込、佐久城山、泉、東、佐久平浅間、臼田、望月、浅科	4,859	232	浅間、野沢、中込、東、臼田、望月、浅科	2,482	104	—	—	—
		小海町	小海	147	8	小海	103	8	—	—
	合 同	南相木村	南相木	52	7	—	—	—	—	—
		北相木村	北相木	42	5	—	—	—	—	—
南信	茅野市	永明、米沢、北山、湖東、豊平、玉川、泉野、金沢、宮川	2,656	126	永明、北部、長峰、東部	1,374	58	—	—	—
		伊那市	伊那、伊那東、伊那北、伊那西、西箕輪、東春近、富県、新山、美篶、手良、西春近、西春近南、長谷、高遠北、高遠	3,243	189	伊那、東部、西箕輪、春富、長谷、高遠	1,718	74	—	—
	飯島町	飯島、七久保	404	16	飯島	195	9	—	—	—
中信	松本市	—	—	—	松島					
	大町市	—	—	—	—	—	—	八坂	97	11
	筑北村	筑北	108	8	聖南	73	6	—	—	—
	松川村	松川	429	19	松川	251	13	—	—	—
北信	飯山市	秋津、飯山、城北、木島	741	44	城南、城北	412	19	—	—	—
計	6市2町4村	49校	12,685	654	24校	7,069	308	1校	97	11



## ウェルビーイング実践校TOCO-TON (トコトン)第2期に指定した 各地域、各学校での取組をご紹介します。

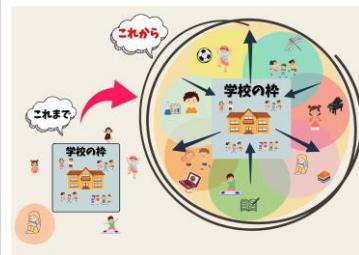
すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求し、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校を目指して、以下のような取組で、未来の学校を創ります。

「子どもたち自身が学校のルールを作る・決める」  
「自然と一体となった教育を行う」  
「異年齢等、多様な集団による学びを実践する」  
「時間割・宿題・テスト・通知表等の在り方を変える」  
「教育課程特例校、授業時数特例校等を活用する」  
「学校や教室に行きづらい子どもも一緒に学ぶ」

### 【東信】佐久市教育委員会

岩村田小、佐久平浅間小、中佐都小、高瀬小、野沢小、泉小、岸野小、中込小、佐久城山小、平根小東小、臼田小、浅科小、望月小  
浅間中、野沢中、中込中、東中、臼田中、浅科中、望月中

#### フレームレスの未来の学校をデザインする



【取り組む「学校の仕組み改革」】  
・子ども自身で学びの場や学び方が選べる  
チャレンジ教室の充実  
・「学びの自走者」の育成

小学校：4,859名 中学校：2,482名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

【地域】市町村教育委員会名

学校名○○○○○○○○○○○○

掲載例

#### 目指す学校（地域）を、一言で！

image

【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・○○○○○○○○○○○○
- ・○○○○○○○○○○

児童・生徒数の総数（R7.5.1現在）

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

### 【東信】小海町教育委員会・北相木村教育委員会・南相木村教育委員会

#### 小海小、北相木小、南相木小、小海中

#### 脱「勉強いやいや」大作戦 学び方×楽しさ×地域×自ら求めて



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・異年齢集団での学び
- ・子どもが企画、運営する行事
- ・休み時間35分構想

小学校：245名 中学校：103名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携



### 【南信-諏訪】茅野市教育委員会

永明小、米沢小、北山小、湖東小、豊平小、玉川小、泉野小、金沢小、宮川小  
永明中、北部中、長峰中、東部中

#### 縄文のビーナスのように輝く 共生社会の学校！



##### 【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・幼保小中（高）（大）の連携、一貫教育を充実
- ・中学校区で地域の特色を生かした探究的な学び
- ・フリースクール等との連携をはじめとし、街中を学びの場に

小学校：2,578名 中学校：1,410名

**全公立学校 同一中学区 幼保と連携**

### 【南信-伊那】飯島町教育委員会

#### 飯島小、七久保小、飯島中

※寄せ鍋学校=地域の様々な立場の方と一緒にごちゃごちゃっと学び合う学校

#### 『えがお』あふれる「寄せ鍋学校」の実現



##### 【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・立場を超えてとことん楽しむ時間の創設
- ・テストや通知表、宿題の在り方の見直し
- ・校内に地域の方の日常的な居場所の設置

小学校：404名 中学校：195名

**全公立学校 同一中学区 幼保と連携**

### 【南信-伊那】伊那市教育委員会

伊那小、伊那東小、伊那北小、伊那西小、西箕輪小、東春近小、富県小、新山小、美篶小、手良小、西春近北小、西春近南小、長谷小、高遠北小、高遠小  
伊那中、東部中、西箕輪中、春富中、長谷中、高遠中

※DEI=だれも えがお い～な  
(Diversity Equity Inclusion)

#### 「学びの森」の創造 多様な学びの場を保障するDEI

※学びの森=多様性を包摂する森のような「自分らしく伸びる」学びの場



森といきる 伊那市

##### 【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・初期日本語指導教室併設学びの多様化学校の設置
- ・ICT活用や対面による複数学級の合同学習
- ・自然・森・食・人の関わりを活かした探究活動

小学校：3,243名 中学校：1,718名

**全公立学校 同一中学区 幼保と連携**

### 【中信】松本市教育委員会

#### 松島中

生徒が主役の学校文化変革プロジェクト

#### コ・クリエーションスクール-生徒・教職員・地域が共に作る学びの場-



##### 【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・CS運営委員会に生徒代表が参加
- ・生徒が企画運営する行事
- ・学校の余白の時間を生み出す工夫

中学校：461名

**全公立学校 同一中学区 幼保と連携**



【中信】大町市教育委員会

## 八坂小中

子どもにとって学びやすく  
教師にとって働きやすい「地域の学校」



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・子どもたちと共に創る学び、行事、集会
- ・しゃべり場やさかの充実
- ・施設分離型義務教育学校の仕組みづくり

義務教育学校：97名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

【中信】松川村教育委員会

## 松川小、松川中

松川村まるごと学校～いつでも・どこでも・自分らしく～



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・新教科「松川村まるごとウェルビーイング学科」（仮称）の設置
- ・学校地域連携ワークショップの開催

小学校：429名 中学校：251名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

【中信】筑北村教育委員会

## 筑北小、聖南中

つながり合いみんなが輝く「筑北太陽学園」



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・つながりを深めながら学ぶ「学び合い」の授業
- ・異学年合同教科学習、学社合同の学び
- ・つながる力を育むアサーション
- ・園児や地域の方、児童が交流できる場の設置

小学校：108名 中学校：73名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

【北信】飯山市教育委員会

## 秋津小、飯山小、城北小、木島小、城南中、城北中

※3C=Chance-Challenge-Change

飯山の未来を創る3Csプロジェクト



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・問い合わせから始まる総合学習
- ・心に余白を生み出す柔軟な週時程
- ・自分でやりたいことを考える「マイタイム」
- ・AIを活用した英会話の帯学習

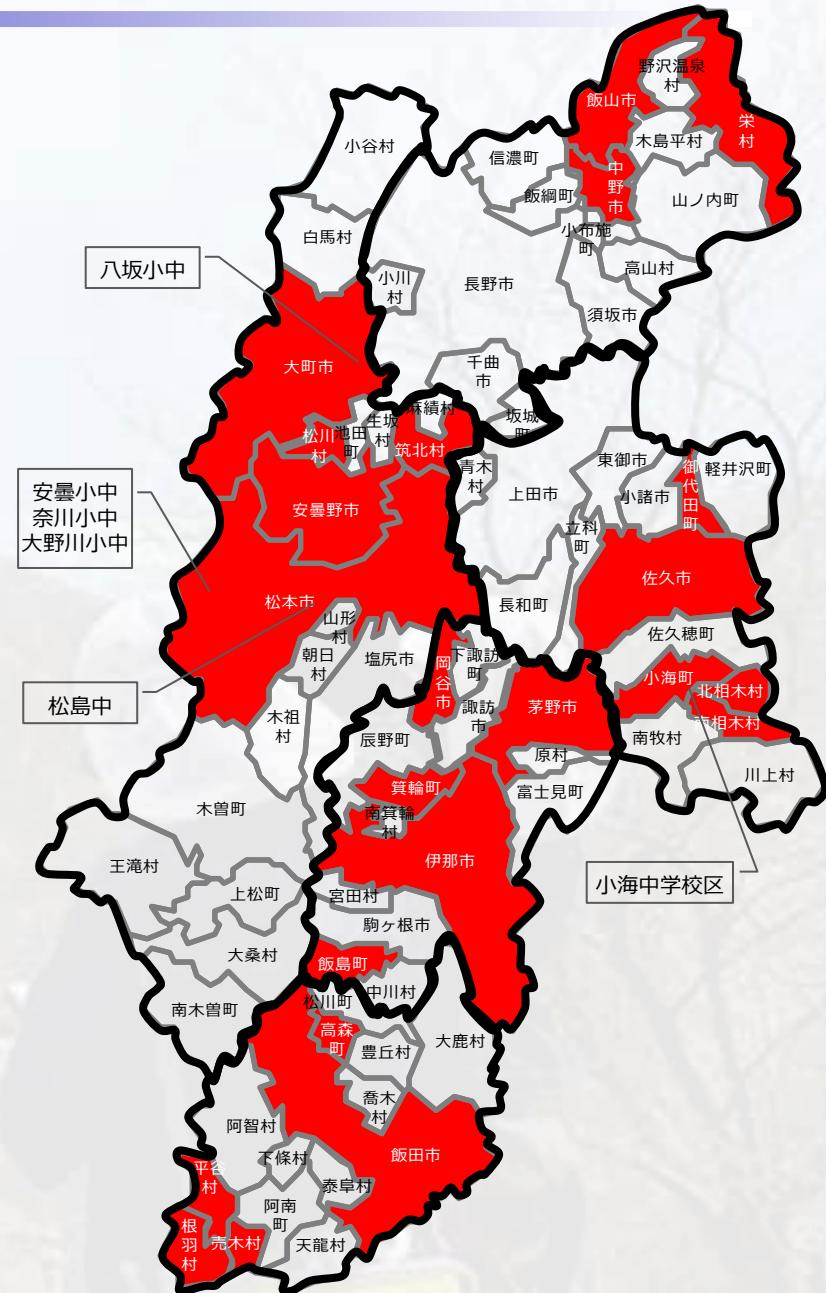
小学校：745名 中学校：412名

全公立学校 同一中学区 幼保と連携

# 令和8年度ウェルビーイング実践校TOCO-TON

令和7年度、12市町村（5市3町4村）  
70校（小学校46校、中学校23、校義務教育学校1校）  
で取組がスタート。  
新たに、12市町村（6市2町4村）  
74校（小学校49校、中学校24、校義務教育学校1校）  
を指定。

市町村	10市/19市	5町/23町	8村/35村	23/77
学校種	95小/343小	47中/179中	2義務/5義務	144/527
規模	小学校 23,278名 /92,102名 1,199学級 /4,666学級	中学校 12,831名 /48,569名 570学級 /2,191学級	義務教育学校 142名 /667名 20学級 /68学級	16,400名 /141,338名 1,789学級 /6,925学級



# 「学校の仕組み変革」を実践するために…子どもの学びをトコトン支える県民の会

学校を取り巻く多様な立場の関係者が一堂に会し、子どもの学びをみんなで支える機運を醸成するため、子どもの学びをトコトン支える県民の会を実施しました

## POINT

- 「先生が子どもと向き合えるよう応援する」とした共同宣言を発出
- 併せて、ごく一部の来校者による“行き過ぎた行為”をご遠慮いただくための啓発ポスターを配布
- この宣言を受けて、各地域の実情に応じた支援の動きが広がるよう、県は支援していく



必要に応じて、保護者にポスターをプリントアウトしたものを渡してから懇談を行うようにしている。対応する教員の安心感につながっている。（中学校教諭）



ポスターを応接室に貼ったところ、非常に効果があった。長時間、大声で怒鳴られていたが、回数と時間が確実に減少した。（高等学校教諭）



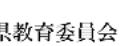
教職員に対する“行き過ぎた行為”はご遠慮ください



長野県



長野県教育委員会



子どもの学びをトコトン支える県民の会

子どもの学びをトコトン支える県民の会

# 共同宣言後に起こっていること～PTA～

宣言・啓発をご覧いただいた各地域の保護者団体が、そのメッセージの実効性を高めるため、  
同じ保護者の目線で訴求したポスターを地域ごと自発的に作成、発信していただいている

## POINT

- 「信頼関係の中で子どもを支えていこう」という旨を、  
同じ保護者という立場に立って訴求
- 一方で、学校の勤務時間を明示する欄を設ける等、  
支える会ポスターより踏み込んだ情報も



# 共同宣言後に起こっていること～地域～

箕輪町では、子どもたち自身が創りたい学校・地域を語り合うとともに、  
その活動を支えていくために学校＆地域はどうしていくかを考える会が開催されています

## REPORT

- 理想の学校・地域を創るために、「なぜ校則があるのか」「勉強を楽しくする方法」「箕輪町を活性化するために」「町内にコンビニを増やすには」等、話し合いたい20のテーマを中学生が考案
- 高校生、教員、保護者、地元企業、農家、移住者、行政職員、町議員等、様々な方が入り混じって各テーマについて討議
- 討議終了後（子どもたちが下校した後）、「こうした子どもたちの願いを叶えるために、私たちはどう学校を支えられるだろう」という主旨で大人の有志（30名程度）が話し合い
- 「どんな支援がうれしいか教えてほしい」「学校の困りごとを可視化したらどうか」「支える・支えられるではなく一緒に楽しむ関係性になろう」等、各々の立場から出来ることを宣言し、箕輪町版共同宣言を発出



# 共同宣言後に実施していること～市町村教委の伴走支援～

学校の業務見直し&意識改革の取組を、**市町村教委+県教委+外部有識者が伴走支援**  
する文部科学省の働き方改革実証事業に参加しています

## POINT

- 行き詰まりを感じている学校に対し、**外部有識者が参加するワークショップできっかけを提供**
- 「知ってる」「どうせ無駄」という**現場の諦めや決めつけをほぐし、現場教員が前向きに子どもと向き合う時間を創出**できるよう、市町村教委+県教委が要所の会議等に入り、伴走支援（一緒に考える）
- 取組の過程や成果を、**市町村教委は管下学校に、県教委は他市町村に、それぞれ横展開**
- 現在、3市1村の教育委員会+県教委で取組中**

